

アクサ生命の変額個人年金保険

5年計画

保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅰ型)付変額個人年金保険(06)
保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)

特別勘定(世界分散型30DI) 四半期運用レポート

2007年4月～2007年6月



【利用する投資信託の委託会社】 興銀第一ライフ・アセットマネジメント株式会社

1999年に第一ライフ投信投資顧問、興銀NWアセットマネジメント、日本興業投信の3社が合併して発足しました。競争力のある運用ノウハウ・人材を結集し、高品質な商品およびサービスをご提供しています。

- ・アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅰ型)/(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。
- ・特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅰ型)/(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしているので、合計等と合致しないことがあります。

保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）
保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）
特別勘定の四半期運用レポート（2007年4月～2007年6月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・当ページのコメントについては、利用する投資信託の委託会社である興銀第一ライフ・アセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

運用環境 [2007年4月～6月]

【国内株式市場】

国内株式市場は、堅調な推移をする外国株式市場に対し期初の会社側の業績見通しに対する警戒感から、狭いレンジでの動きとなりました。その後、米国の景況感の改善等から、内外金利が急上昇しましたが、企業業績への上方修正期待も高まり、緩やかに上昇する展開となりました。セクター別では、世界的な景気拡大の恩恵から市況素材関連（海運・石油・卸売）や円安メリットも受ける組立加工（精密・ゴム・機械）が好調でした。一方で、ディフェンシブ（電気ガス・医薬品）や内需関連（不動産・建設）が総じて不振でした。

【外国株式市場】

米国株式市場は、12月末以降下方修正トレンドであった2007年の業績見通しが底打ちし、上昇トレンドへ反転したことから堅調な推移となりました。3月に表面化した米国の住宅融資問題（サブプライムローン）の影響は限定的との見方が支配的になったこと、M&Aが依然として世界的に高水準なことも株式市場の上昇をサポートしました。6月には、世界的に長期金利が上昇に転じたことから横ばいとなりました。

【国内債券市場】

国内債券市場は、4月から5月中旬にかけては、消費・物価に対する不透明感、良好な需給環境により1.6～1.7%での極めて狭いレンジ推移となりましたが、5月下旬以降、米国利下げ観測後退による海外金利上昇、失業率改善を受けた日銀早期利上げ観測の台頭などを背景に、10年国債金利は一時1.985%まで上昇しました。イールドカーブは、4、5月に中期ゾーンを中心にフラット化した後、6月には超長期ゾーンでの一般債の大量起債、米イールドカーブのステープ化などを背景に、ステープ化しました。

【外国債券市場】

米国金利は、強めの経済指標等から利下げ期待が後退したことや、中国の米国債購入減額観測から、期央より上昇地合いに転じました。期末にかけ、米大手ファンドが低所得者層向けローンの証券化商品への投資で損失を受けたとの報道から、質への逃避の買いが入り小戻す展開となりました。
ユーロ圏金利は、堅調な景気環境や通貨供給量の伸び高止まりを受けて、欧州中央銀行の金融引き締めが市場見通し以上に進むとの見方が広がり、期を通して上昇地合いで推移しました。

【外国為替市場】

外国為替市場は、米国で早期利下げ観測が弱まり米ドルに買い戻しが入る局面もあったものの、米ドル中心の外貨準備を他の通貨に分散させる動きや、期末にかけ米大手ファンドが低所得者層向けローンの証券化商品への投資で損失を受けたとの報道が嫌気され、総じて米ドル安で推移しました。
ドル/円は、日銀の再利上げ実施のタイミングが不明確で日米間の短期金利差が急速に縮小するリスクは小さいとの見方や、本邦個人投資家の旺盛な外貨建資産投資を背景に円は軟調に推移しました。

【募集代理店】 取扱者（生命保険募集人）
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL: 0120 375 193
アクサ生命株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>

保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）
 保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）
 特別勘定の四半期運用レポート（2007年4月～2007年6月）

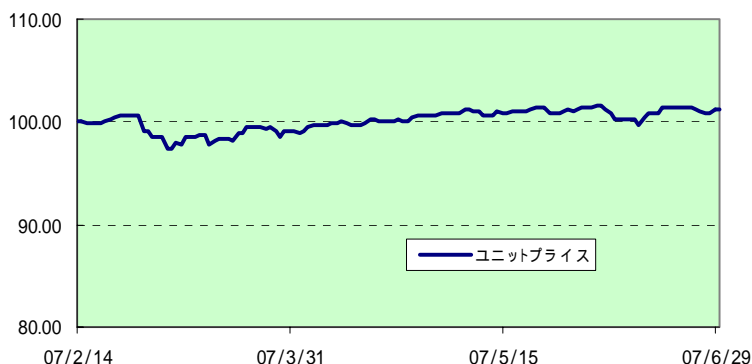
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
 ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である興銀第一ライフ・アセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2007年6月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型30DI	当ファンドは、日本および世界の株式、債券などへ分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。投資対象となる各資産の合成インデックスをベンチマークとし、ベンチマークに連動する投資成果を目指します。 基本資産配分比率は下記の通りとなります。当ファンドにおいて、外国債券の資産配分比率である40%のうち、15%相当部分を為替ヘッジします。 国内株式：10% 外国株式：20% 国内債券：30% 外国債券(為替ヘッジなし)：25% 外国債券(為替ヘッジあり)：15% リバランスは、1ヵ月毎(月末時点)に基本資産配分比率に戻すことを原則とします。当ファンドの主なリスクとして、価格変動リスク、為替リスク、信用リスク、金利変動リスクなどがあります。
利用する投資信託	
DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA (適格機関投資家限定)	

特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、各特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定の ユニットプライス		騰落率(%)	
2007年6月末	101.19	過去1ヶ月	-0.07
2007年5月末	101.26	過去3ヶ月	2.14
2007年4月末	100.66	過去6ヶ月	-
2007年3月末	99.07	過去1年	-
2007年2月末	99.16	過去3年	-
-	-	設定来	1.20

・世界分散型30DIの特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2007年2月13日)を100.00として計算しております。
 ・騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する今月末のユニットプライスの変動率を表しています。

特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型30DI	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	9,283,980	98.8
現預金・コールローン	73,504	0.8
その他	41,086	0.4
合計	9,398,572	100.0

・特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
 ・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL: 0120 375 193
アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/life/>

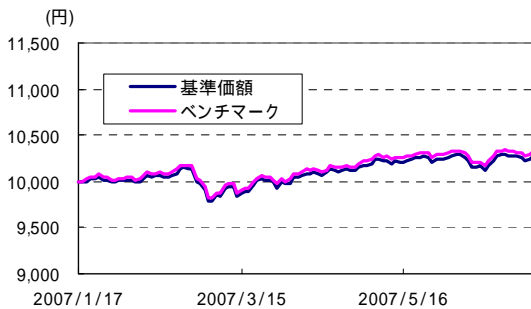
保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）
 保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）
特別勘定の四半期運用レポート（2007年4月～2007年6月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である興銀第一ライフ・アセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、興銀第一ライフ・アセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA（適格機関投資家限定）の運用状況 [2007年6月末日現在]

ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

基準価額の推移（税引前分配金再投資）



基準価額は税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額と異なることがあります。
 基準価額およびベンチマークは設定日（2007年1月18日）の前日を10,000として表示しております。
 基準価額は信託報酬（年率0.315%（税抜0.3%））控除後です。

騰落率（税引前分配金再投資）

	1か月 (2007/05/31)	3か月 (2007/03/30)	設定来 (2007/01/18)
当ファンド	0.12%	2.82%	2.72%
ベンチマーク	0.19%	3.01%	3.27%
差	-0.08%	-0.18%	-0.55%

騰落率は税引前の分配金を再投資したものと算出していますので、実際の投資家利回りと異なることがあります。

分配金情報（税引前）

分配金は1万円当たり

第1期（2007.06.22）	分配金	0 円
	累計分配金	0 円

当月末基準価額・純資産総額

基準価額	10,272 円
純資産総額	9,284 百万円
設定日	2007年1月18日
決算日	原則 6月 22日
信託期間	無期限

ポートフォリオ構成

	実質組入比率	基本資産配分比率	差
国内株式	10.1%	10.0%	0.1%
国内債券	29.8%	30.0%	-0.2%
外国株式	20.0%	20.0%	0.0%
外国債券	38.3%	40.0%	-1.7%
現金等	1.7%	0.0%	1.7%
合計	100.0%	100.0%	-

計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより、ファンドの実質組入比率と基本資産配分比率が、一時的に大幅に乖離したり「現金等」の比率がマイナスになる場合があります。
 株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります。
 外国債券の資産配分比率である40%のうち、15%相当部分を為替ヘッジします。

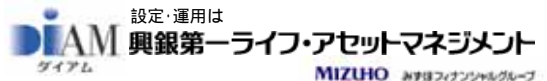
ファンドの特色

- 主な投資対象** …… 主として国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド、国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンドおよび外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンドの各受益証券への投資を通じ、国内株式・国内債券・外国株式・外国債券へ投資します。
- 投資方針** …… マザーファンド受益証券への投資を通じ、内外の株式および公社債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。
- ベンチマーク** …… 以下の各資産のベンチマークを基本資産配分比率で組入れた合成指数とします。

各資産のベンチマーク

- 【国内株式】 東証株価指数（TOPIX、配当込み）
- 【国内債券】 NOMURA - BPI総合
- 【外国株式】 MSCIコクサイ・インデックス（円換算ベース、配当込み）
- 【外国債券（為替ヘッジなし）】 シティグループ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
- 【外国債券（為替ヘッジあり）】 シティグループ世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）

当資料は、興銀第一ライフ・アセットマネジメントが独自に作成したものであり、証券取引法により義務付けられた資料ではありません。
 当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
 当資料は、興銀第一ライフ・アセットマネジメントが信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。
 掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。



【募集代理店】 取扱者（生命保険募集人）
 株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
 アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
 TEL: 0120 375 193
 アクサ生命保険株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>

保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06） 保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の四半期運用レポート（2007年4月～2007年6月）

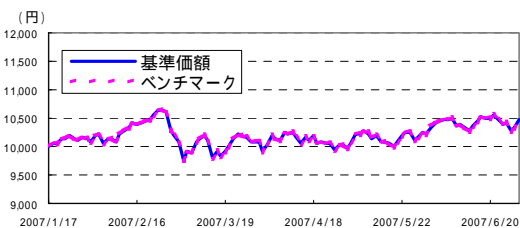
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である興銀第一ライフ・アセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、興銀第一ライフ・アセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 [2007年6月末日現在]

ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド

比率は組入株式時価総額比



基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。
ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX 配当込み)です。

組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 1719銘柄)

No	銘柄	業種	比率(%)
1	トヨタ自動車	輸送用機器	4.62
2	三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	3.23
3	みずほフィナンシャルG	銀行業	2.30
4	キヤノン	電気機器	2.11
5	三井住友フィナンシャルG	銀行業	2.07
6	本田技研	輸送用機器	1.58
7	ソニー	電気機器	1.56
8	武田薬品	医薬品	1.45
9	松下電器産業	電気機器	1.15
10	新日本製鐵	鉄鋼	1.13

騰落率

	1か月 (2007/05/31)	3か月 (2007/03/30)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	1.19%	3.69%	4.68%
ベンチマーク	1.14%	3.62%	4.66%
差	0.05%	0.07%	0.03%

純資産総額 153,519 百万円

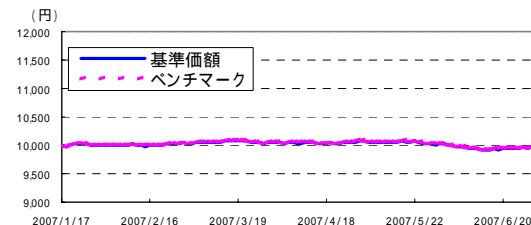
設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。
東証株価指数(TOPIX)に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

組入上位10業種

	業種名	当ファンド	インデックス	差
1	電気機器	14.43	14.43	0.00
2	銀行業	11.92	11.92	0.00
3	輸送用機器	9.79	9.79	0.00
4	化学	5.20	5.20	0.00
5	情報・通信業	4.82	4.82	0.00
6	卸売業	4.67	4.68	0.00
7	機械	4.59	4.59	0.00
8	電気・ガス業	4.10	4.10	0.00
9	医薬品	4.05	4.05	0.00
10	鉄鋼	3.73	3.73	0.00

国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

比率は組入債券時価総額比



基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。
ベンチマークは、NOMURA-BPI総合です。

組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 461銘柄)

No	銘柄	比率(%)
1	4 2 回 利付国庫債券(5年)	2.23
2	4 4 回 利付国庫債券(5年)	2.13
3	3 7 回 利付国庫債券(5年)	2.12
4	4 0 回 利付国庫債券(5年)	1.98
5	5 2 回 利付国庫債券(5年)	1.97
6	2 8 4 回 利付国庫債券(10年)	1.92
7	2 8 2 回 利付国庫債券(10年)	1.87
8	2 8 5 回 利付国庫債券(10年)	1.87
9	6 3 回 利付国庫債券(5年)	1.72
10	6 0 回 利付国庫債券(5年)	1.62

騰落率

	1か月 (2007/05/31)	3か月 (2007/03/30)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	-0.50%	-0.86%	-0.34%
ベンチマーク	-0.50%	-0.84%	-0.30%
差	0.00%	-0.02%	-0.05%

純資産総額 190,675 百万円

設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。
NOMURA-BPI総合は野村證券株式会社によって計算、公表されている投資収益指数で、野村證券株式会社の知的財産です。

セクター別比率

	組入比率	ベンチマーク	差
国債	75.60%	73.74%	1.86%
地方債	5.72%	6.03%	-0.30%
金融債	2.58%	2.56%	0.01%
政保債	6.02%	6.19%	-0.17%
社債	9.33%	9.63%	-0.30%
円建外債	0.36%	0.90%	-0.54%
MBS	0.38%	0.95%	-0.57%
合計	100.00%	100.00%	-

ポートフォリオの状況

	当ファンド	ベンチマーク	差
平均複利利回り	1.51%	1.52%	-0.01%
平均クーポン	1.34%	1.52%	-0.18%
平均残存期間	6.68	6.60	0.08
修正デュレーション	5.97	5.86	0.11

ポートフォリオの状況は純資産総額をもとに計算しております。
「複利利回り」とは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられる金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受取れる利息の割合のことで表面利率をあらわします。

当資料は、興銀第一ライフ・アセットマネジメントが独自に作成したものであり、証券取引法により義務付けられた資料ではありません。

当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

当資料は、興銀第一ライフ・アセットマネジメントが信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。

掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。



発行・運用は

興銀第一ライフ・アセットマネジメント

【募集代理店】 取扱者（生命保険募集人）
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL: 0120 375 193
アクサ生命保険株式会社 http://www.axa.co.jp/life/

保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06） 保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の四半期運用レポート（2007年4月～2007年6月）

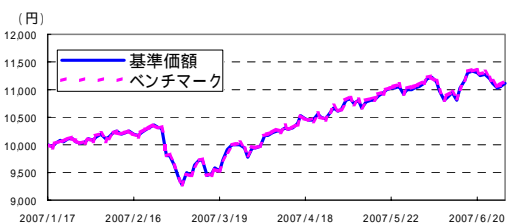
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である興銀第一ライフ・アセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、興銀第一ライフ・アセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 [2007年6月末日現在]

ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド

比率は組入株式時価総額比



基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース、配当込み)です。

騰落率

	1ヵ月 (2007/05/31)	3ヵ月 (2007/03/30)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	0.57%	11.71%	11.23%
ベンチマーク	0.64%	11.90%	11.47%
差	-0.07%	-0.19%	-0.24%

純資産総額 179,872 百万円

設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI BARRA(モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル・バーラ)が所有する株価指数です。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 1475銘柄)

No.	銘柄	国名	業種	比率(%)
1	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	石油・ガス・消耗燃料	1.86
2	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	コングロメリット	1.52
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア	1.02
4	AT&T INC	アメリカ	各種電気通信サービス	0.99
5	CITIGROUP INC	アメリカ	各種金融サービス	0.98
6	BP PLC	イギリス	石油・ガス・消耗燃料	0.90
7	BANK OF AMERICA CORP	アメリカ	各種金融サービス	0.85
8	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	商業銀行	0.82
9	PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	家庭用品	0.75
10	PFIZER INC	アメリカ	医薬品	0.72

株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります。

組入上位10カ国

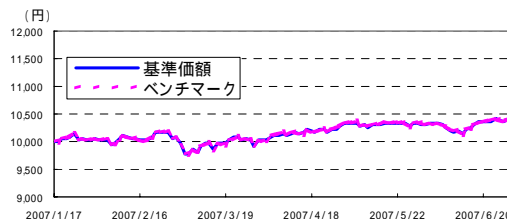
	国名	比率
1	米国	52.14%
2	英国	12.31%
3	フランス	5.32%
4	ドイツ	4.44%
5	カナダ	4.26%
6	スイス	3.67%
7	オーストラリア	3.38%
8	スペイン	2.15%
9	オランダ	2.12%
10	イタリア	2.02%

組入上位10業種

	業種名	比率
1	エネルギー	10.64%
2	銀行	10.63%
3	資本財	7.97%
4	各種金融	7.38%
5	医薬品・バイオテクノロジー	6.42%
6	素材	6.35%
7	保険	5.38%
8	食品・飲料・タバコ	4.84%
9	電気通信サービス	4.83%
10	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.82%

外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

比率は組入債券時価総額比



基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。ベンチマークは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)です。

騰落率

	1ヵ月 (2007/05/31)	3ヵ月 (2007/03/30)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	0.84%	3.71%	3.93%
ベンチマーク	0.98%	3.84%	4.08%
差	-0.15%	-0.14%	-0.15%

純資産総額 321,612 百万円

設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。シティグループ世界国債インデックスは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した債券インデックスです。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 242銘柄)

No.	銘柄	通貨	組入比率(%)	残存年数
1	DEUTSCHLAND 5.0 07/04/11	ユーロ	1.92	4.014
2	US T N/B 6.5 02/15/10	米ドル	1.54	2.628
3	US T N/B 5.75 08/15/10	米ドル	1.43	3.128
4	US T N/B 6.0 08/15/09	米ドル	1.43	2.128
5	US TREASURY N/B 4.5 02/15/09	米ドル	1.39	1.628
6	US T N/B 3.875 05/15/09	米ドル	1.38	1.678
7	US T N/B 3.25 01/15/09	米ドル	1.37	1.544
8	FRANCE OAT 4.0 04/25/09	ユーロ	1.34	1.822
9	FRANCE BTAN 3.5 07/12/09	ユーロ	1.32	2.036
10	BUNDESBOBL 3.5 10/09/09	ユーロ	1.32	2.278

通貨別比率

通貨	比率
ユーロ	56.36%
USドル	29.03%
イギリス・ポンド	8.18%
カナダ・ドル	2.91%
ポーランド・ズロチ	1.19%
デンマーク・クローネ	1.01%
スウェーデン・クローネ	0.95%
ノルウェー・クローネ	0.38%
合計	100.00%

ポートフォリオの状況

	当ファンド	ベンチマーク	差
平均複利回り	4.59%	4.76%	-0.17%
平均クーポン	4.66%	4.71%	-0.05%
平均残存期間	8.28	8.45	-0.17
修正デュレーション	5.72	5.86	-0.14

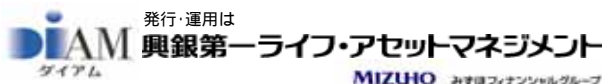
ポートフォリオの状況は純資産総額をもとに計算しております。「複利回り」とは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利回りを加重平均したものです。利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受取れる利息の割合のことで表面利率をあらわします。

当資料は、興銀第一ライフ・アセットマネジメントが独自に作成したものであり、証券取引法により義務付けられた資料ではありません。

当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

当資料は、興銀第一ライフ・アセットマネジメントが信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。

掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。



【募集代理店】 取扱者（生命保険募集人）
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL: 0120 375 193
アクサ生命保険株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>

保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）
 保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）
リスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動（増減）するしくみの変額個人年金保険です。特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行なっており、株式および公社債の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払い戻し金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。

【諸費用について】

- ！ ご契約者にご負担いただくこの保険の費用は、契約初期費用・保険契約管理費・運用関係費の合計金額となります。
 なお、年金種類の変更により一般勘定年金を選択された場合には、年金管理費がかかります。

特別勘定繰入前に控除される費用

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費用 ご契約の締結などに必要な費用	一時払保険料に対して 5% (例)一時払保険料1,000万円の場合、 50万円	一時払保険料を特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

据置期間中に控除される費用

項目	費用	ご負担いただく時期
保険契約管理費 特別勘定年金受取累計金額（既払年金累計金額）と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持などに必要な費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.3% (例)その日の特別勘定の積立金額が1,000万円の場合、 1日あたり約631円	毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費*1 特別勘定の運用などに必要な費用	投資信託の純資産額に対して 年率0.315%程度 (税抜き:年率0.30%) (例)その日の投資信託の純資産額が1,000万円の場合、 1日あたり約87円	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

年金受取開始日以後に控除される費用（特別勘定年金受取期間中）

項目	費用	ご負担いただく時期
保険契約管理費 特別勘定年金受取累計金額（既払年金累計金額）と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持などに必要な費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.3% (例)その日の特別勘定の積立金額が1,000万円の場合、 1日あたり約631円	毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費*1 特別勘定の運用などに必要な費用	投資信託の純資産額に対して 年率0.315%程度 (税抜き:年率0.30%) (例)その日の投資信託の純資産額が1,000万円の場合、 1日あたり約87円	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

年金受取開始日以後に控除される費用（年金の種類の変更により一般勘定年金を選択した場合）

「年金払特約(06)」により年金をお受け取りいただく場合を含みます。

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費*2 年金のお支払いや管理などに必要な費用	年金額に対して 1.0% (例)年金額が100万円の場合、 1万円	年金受取日に、責任準備金から控除します。

- *1 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量などによって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。なお、運用関係費は運用手法の変更、運用資産額の変動などの理由により、将来変更される可能性があります。
- *2 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

【その他の留意事項について】

受取総額保証金額（定期型）

受取総額保証金額の最低保証は、据置期間（5年～17年）と特別勘定年金受取期間（3年～15年）の合計期間が20年である場合に限られます。積立期間中にご契約を解約される場合、もしくは年金受取期間中に積立金額を一括でお受け取りいただく場合には、お受け取りになる金額が一時払保険料を下回る場合があります。

【募集代理店】 取扱者（生命保険募集人）
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL: 0120 375 193
アクサ生命株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>